

2021年度 事業報告

2021年4月1日～2022年3月31日

1. 対面クラス授業

毎週土曜日 午後

幼（年少～年長） B（小学1年～3年）A・S（小学4年～高校生）AS（受検）単科（合奏又は合唱）
クラスの平均人数は 約5.5人（単科は含めず）

| | 前期 | 後期 |
|--------------|--|--|
| 生徒数 | 在室 169 休室 44 計 213 | 在室 164 休室 46 計 210 |
| クラス数 | 幼 10 B 10 A・S 10 AS 1 単 3 | 幼 10 B 10 A・S 9 AS 1 単 3 |
| 合唱・合奏 受講者 | 合唱 89 合奏 57 | 合唱 81 合奏 58 |
| 選択授業 受講者 | 作曲 21 鑑賞 15 合奏準備 13 (ヴァイオリン 11 チェロ 2) | 作曲 21 鑑賞 15 合奏準備 9 (ヴァイオリン 7 チェロ 2) |
| 研究員数 | 常勤 20 非常勤 17 | 常勤 20 非常勤 17 |

- 4/10 入室式／前期授業開始
- 4/17 選択授業開始
- 5/10 オンラインコース授業開始
- 6/19 通常授業なし（スケール・アルペッジョテスト）
- 6/26 前期懇談会 ※対面、電話、オンラインでの実施
- 7/24-8/28 夏休み
- 9/4 授業再開
- 9/18 在室生前期学科テスト／後期入室適性検査
- 10/9 後期授業開始
- 11/13 定演前日練習のため特別時間割（音高ホール）
- 11/20 避難訓練
- 12/25-1/8 冬休み
- 1/15 授業再開
- 2/19 在室生後期学科テスト
- 2/26 後期懇談会 ※対面、電話、オンラインでの実施
- 3/5 後期授業最終日 オペレッタ特別練習
- 3/6 創作オペレッタ特別練習（音楽高校アリーナ）
- 3/12 創作オペレッタ前日練習のための特別時間割（音楽高校アリーナ）
- 3/19 春休み 2022年度前期入室生 適性検査

※緊急事態宣言中・まん延防止期間中は、濃厚接触者・感染症が心配な方には授業の配信対応。
合唱クラスは2つに分けて実施。授業毎に椅子、机、授業内容によっては床の消毒。

2. オープンスクール

日時 1月22日（土）・29日（土）→ 感染症拡大の為、動画配信に変更
場所 音楽教室

WEB オープンスクールは常時ホームページに掲載

オープンスクール

<https://youtu.be/iQqS7nEWnUg>

よくある質問コーナー

<https://youtu.be/Nm3KtNUPwpI>

3. 生徒募集

後期編入生募集 7月3日(土)～9月11日(土)
 2022年度前期新入生募集 1月15日～3月15日
 教室ホームページに要項を掲載
 関係機関 関係者に送付

4. 入室適性検査

後期編入生 適性検査
 日時 9月18日(土)
 受験者 8名(うち復室生1名 オンラインコース1名)

2022年度前期入室生 適性検査
 日時 3月19日(土)
 受験者 40名(うち復室生4名 オンラインコース1名)
 日時 4月16日(土)
 受験者 2名(うち復室生2名 海外より帰国したため別対応)

5. オンラインコース

*オンラインコースは登室を要しない完全オンラインで前期15回、後期15回の配信を行う。

| | 年中 | 年長 | 小学生・中学生初めての 聴音コース | オーダーメイドコース | 合計 |
|--------|----|----|----------------------|------------|----|
| 2021前期 | 1 | 0 | — | 2(中1、中2) | 3 |
| 2021後期 | 1 | 0 | 1(小5) | 2(中1、中2) | 4 |

6. ASクラス夏冬期講習

| | 受講生数 | 受講コマ数(延べ) |
|----|------|-----------|
| 夏期 | 5 | 18 |
| 冬期 | 4 | 22 |
| 計 | 9 | 40 |

7. 中学生以上向けオンライン夏冬春期講習

| | 受講生数(うち外部) | 受講コマ数(延べ) |
|----|------------|-----------|
| 夏期 | 7(3) | 12 |
| 冬期 | 6(2) | 10 |
| 春期 | 3(2) | 4 |
| 計 | 16(7) | 26 |

8. トライアルコース(新設)

オンラインでソルフェージュの基礎である単旋律と和声の書き取りを4回分配信し、添削
 受講数 6名(うち5名が2022年度前期入室)

9. 特別鑑賞授業、ワークショップ等

京都市立京都堀川音楽高校 ガイダンス
 日時 12月11日(土)
 会場 音楽高校ホール
 講師 藏野雅彦(京都堀川音楽高等学校改革推進コーディネーター) 他

鑑賞クラス特別授業

日時 2月26日(土)

場所 音楽教室

講師 亀井貴幸 クラシックギター(京都市立芸術大学大学院音楽学専攻修了 フランス留学)

10. 基礎教育部研究会

感覚統合講座と音響彫刻講座を予定していたが、中止

11. スケール・アルペッジオ試験 6月19日(土)

内容 スケール(音階)・アルペッジオ(分散和音)のテスト

| | 受験者数 |
|--------|------|
| ピアノ | 46 |
| ヴァイオリン | 43 |
| チェロ | 8 |

12. ヴァイオリン公開レッスン

演奏アドバイザー 岸邊百百雄先生(代表理事・京都市立芸術大学名誉教授)

受講生のオーディション

日時 12月18日(土)

会場 音楽教室内

受験者 8名

ヴァイオリン公開レッスン

日時 1月22日(土)

会場 音楽高校ホール

受講生 5名

曲目 小6 バッハ：無伴奏パルティータ 第3番 ホ長 BWV1006 より
 小4 ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 Op. 26 第3楽章
 中3 モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 第4番 第1楽章
 中3 ローデ：24のカプリスより 第23番
 中3 モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 第5番 第1楽章

13. 定期演奏会個人演奏の部オーディション

(1) 第1次オーディション 10月2日(土)

| 楽器等 | 受験者数 |
|-------|-------------------|
| ピアノ | 24 |
| 弦楽 | 24(ヴァイオリン22 チェロ2) |
| 声楽 | 1 |
| 作曲クラス | 14 |

(2) 第2次オーディション 10月23日(土)

| 楽器等 | 受験者数 |
|-------|-------------------|
| ピアノ | 11 |
| 弦楽 | 11(ヴァイオリン10 チェロ1) |
| 声楽 | 1 |
| 作曲クラス | 12 |

(3) 合格者

| | |
|-------|------------------|
| ピアノ | 4 |
| 弦楽 | 4 (ヴァイオリン3 チェロ1) |
| 声楽 | 1 |
| 作曲クラス | 6 |

第2次オーディション特別審査員

| | |
|-----|--|
| ピアノ | 田隅靖子先生 (京都市立芸術大学名誉教授) 砂原悟先生 (京都市立芸術大学音楽学部長) 大畑博貴先生 (元京都市立京都堀川音楽高校教諭) |
| 弦楽 | 岸邊百百雄先生 (京都市立芸術大学名誉教授) 四方恭子先生 (京都市立芸術大学教授) |
| 声楽 | 上野洋子先生 (京都市立芸術大学准教授) |
| 作曲 | 岡田加津子先生 (京都市立芸術大学教授) 平田あゆみ先生 (京都市立京都堀川音楽高校教諭) |

14. 定期演奏会

第64回 定期演奏会

日時 11月14日(日) 午前・午後

会場 京都市呉竹文化センター

主な内容 作曲作品発表

個人演奏

B合唱 あのね、のねずみは、たのしいね、
風になれ、まっかな秋、気球に乗ってどこまでも

A合唱 にじ、くさはら、昼しずか、きこえてくる

B合奏 C. サン＝サーンス「動物の謝肉祭」より I序曲 II象 III化石 IV白鳥
V終曲

A合奏 E. エルガー 弦楽セレナーデ ホ短調 Op. 20

来場者 488人 保護者、関係者、一般の方(人数限定の申込制)

※感染症対策のため、5部門に分けて完全入れ替え制で実施

連携 音楽教室0B、京都市立芸術大学卒業生が弦楽器でエキストラ出演

15. 創作オペレッタ公演

第27回 不思議の国のアリス

日時 3月13日(日) 午後

会場 京都市呉竹文化センター

来場者 272名 保護者、関係者、一般の方(人数限定の申込制)

連携 音楽教室0B、京都市立芸術大学卒業生が弦楽器でエキストラ出演

京都市立芸術大学美術学部デザイン専攻生がチラシとプログラムをデザイン
クラウドファンディングを実施 総支援額 540,500円 支援人数 56名

16. スプリングコンサート

2021年度は開催なし

17 生徒の感想（教育後援会報「教室だより Vol. 31-32」より抜粋）

【第 64 回定期演奏会】

・わたしは、えんそうかいに出て、うれしかったけれど、きんちょうしました。でも、さいごまでしっかりと、できました。おおぜいの人がいたのは、きょうがはじめてだからです。えんそうかいがおわったあと、いえでおかあさんといっしょにがんばったせいかはあるとふりかえりました。これからがんばってきんちょうせずに、できるようになりたいです。（小1 Tさん）

・わたしは、今年がはじめてコンサートマスターをしました。コンサートマスターは、毎日練習しないとせつかくの定期えんそう会がせいこう出来ないかもしれないと思いました。今年の定期えんそう会でひいた曲は「動物のしゃ肉祭」です。練習を始めた時は、みんなの音ていが合わないもので、こまりました。先生たちが、みんなていねいに教えてくださって、それからだんだん上手くなっていきました。時どき、みんなの音が合わない時もあったけど、バイオリンもチェロも全員努力してきたと思います。本番では、みんなが力を合わせてがんばったので、よいえんそうが出来て、わたしはうれしかったです。（小3 Sさん）

・去年の前期はコロナの関係で休室しなければいけない状況になり、残念ながら作曲は作れなかったのですが、今年はまだ作曲部門で演奏ができて嬉しかったです。今回の曲は重音や分散和音等、技術的に凝った作りにチャレンジしてみたので、演奏面では少し練習に苦労してしまう事になりました。この曲は緊急事態宣言時の休校期間中に、ヴァイオリンパートを一部書いていたものに、復室後にピアノパート等を更に書き足して作ってみました。ヴァイオリンパートの分散和音の部分は一つミスをするとその後が崩壊してしまう危険があってかなり緊張したが、ピアノ伴奏を引き受けて下さったFさんがとても美しく弾いてくれ、僕も難しい部分でも落ち着いて弾くことができ、とても楽しく演奏することが出来ました。（中2 Tさん）

・音楽教室に入ったのは小学校3年生の時。初めて受けたオーディションは1次落ち、オケの席では同い年の中ではほぼ1番後ろでした。それから6年 個人演奏に出演しコンミスを務めさせて頂くことも出来ました。しかし、合奏ではコンミスの役目を果たせたとはい正直思っていません。A合奏のみんながこんなコンミスでも一緒に練習に取り組んでくれたからこそ良い演奏になったのではと思います。オペレッタではしっかりと進化したA合奏、そして私をお届け出来ればと思います。（中3 Oさん）

・今回はおそらく私にとって最後の定期演奏会でしたが、演奏会中はあまり実感のないまま過ぎてしまい、少しもったいなかったかもしれないなあと思いました。今回、A合奏ではセカンドトップを務めさせていただき、とても緊張していましたが、良い経験になったと思います。エルガーのセレナーデはメロディが美しく、pとfの差はあるものの、激しすぎない優しい雰囲気が感じられる素敵な曲だと思います。また、今回はヴァイオリンで個人演奏にも出場させていただきました。初めてA合奏に入った年に、当時のコンミスのお姉さんが個人演奏で弾いていたのを聴いて、ずっと憧れていたもので、出場できて本当に嬉しかったです。（中3 Hさん）

・今回の定期演奏会では、初めて個人演奏に出演させていただきました。高校2年生にして初めてオーディションを受けて出演できるようになり本当に嬉しかったことを覚えています。声楽で個人演奏で出演される人は珍しかったらしく、非常に貴重な経験をさせていただきました。大きなホールで歌う機会がなかなか無く、先生方にもアドバイスしていただいて、気持ち良く歌うことができました。A合唱では、テンポが揺れ動く曲が多かったので指揮の先生とうまく合わせるのが難しかったですが、テンポの変化も面白く楽しく歌えました。A合唱に参加するのは今年が最後かもしれないので思い出深い演奏会になりました。（高2 Nさん）

【第 27 回創作オペレッタ 不思議の国のアリス】

・わたしは、はじめてオペレッタに、合しようで出えんしました。お話は、ふしぎの国のアリスで、鳥たちの役でした。いつもの合しようとはまたちがい、お話の中でうたうのは、とても楽しかったです。いつもの合しようとはまたちがい、お話の中でうたうのは、とても楽しかったです。キャストの人を見ていると、本当に役の人や動物のようで、すごいなと思いました。わたしもオペレッタのキャストをしてみたいと思いました。（小1 Oさん）

・最初曲を渡されても、イメージがわからず、面白くない！と思っていたが、リハーサルなどで全体の演技をみて、初めて、ああこんな場面での曲なのか、と思うと急に楽しくなり、やる気がでてきて、オペレッタが好きになった。また上級生が一人で舞台上で歌ったりしているのをみて、自分には、恥ずかしくてできないことなので、羨ましく、頼もしく思った。自分ももし、挑戦できたら、自分ならあんな風に演じたいな、とか、想像が膨らみ、、楽しかった。

(小2 Mさん)

・はじめてわたしは舞台上でB合奏としてバイオリンを弾きました。キャストさんたちが主役なのにお客さんたちの耳と目がこっちにそそがれているような気がして、とてもきんちょうしました。でも、スポットライトをあびてげきをえんじるキャストさんたちは本当にすごいな一と思います。なので、五年生になったらキャストさんになりたいと思いました。わたしがキャストさんになったら、自分の役の人がどんな気持ちでしぐさや言葉をしているか考えながらえんじたいなと思います。(小3 Mさん)

・オペレッタでは、キャストがしっかり大きな声ではきはきとした言葉で話していてすごいと思いました。あとげきに合わせた合奏がとてもきれいでした。私は合唱で4曲歌いました。その中で「M22 位置につけい！」を作曲しました。作曲をしたのは、初めてでしたが、みんなで協力してでき上がった時は、うれしかったです。また、この4曲の中で一番好きな曲は「M26 不思議の国のアリス」です。好きな歌詞は、「子どもの心はわすれないで」です。子どもは大切な心を持っていて、大人になってもわすれないでいようと思いました。(小4 Mさん)

・私は、オペレッタで2の庭師をさせて頂きました。年中の頃からあこがれていたキャストができて、とても嬉しかったです。初めは「簡単だし、ひまだな。」と思っていたけれど、練習が進むにつれ、複雑な事をしたり、忙しくなっていくのでおどろきました。本番もちろん忙しかったけれど、セリフや動きもうまくできたので、この役を選んで良かったなと思います。次のオペレッタもキャストに挑戦したいと思います。(小5 Uさん)

【岸邊百百雄先生ヴァイオリン公開レッスン】

・堀音のホールで一人でひくのは初めてだったのできんちょうして、いつも通りにはひくことができませんでしたが、レッスンが始まると、少し落ち着いて先生のおっしゃることに気をつけながらひくことができました。力をぬいて音をひびかせること、アクセントや休符の取り方によって、曲の表情を変えられるということ学びました。

「tranquillo」の静かにという意味は、音量を小さくするのではなく、心を静かにえんそうする、という先生の言葉が強く印象に残りました。心の中のことをヴァイオリンで表現できるなんてやっぱり音楽はすてきだなと思いました。これからも心の感情を表現できるように、たくさん練習していきたいです。(小4 Fさん)

・ぼく自身、曲についてや、調性など、勉強しないまま舞台上に立ってしまったので、聞かれたときは答えられませんでした。先生に教えてもらった通り、テンポのことを意識して弾くと雰囲気が出ましたし、拍も2分の2を感じて弾いたら、踊りっぽく聞こえてきました。先生に音程のことなどを何度もほめられたのは大きな自信になりました。とても嬉しかったです。ぼくはこの経験を生かして、ヴァイオリンがもっと上手になりたいと思っています。ありがとうございました。(小6 Yさん)

2021 年度教室案内

京都市立芸術大学音楽学部音楽教育研究会
京都子どもの音楽教室

www.kyoto-kodomo-music.com/



2022年度(令和4年度)
教室案内
 一般社団法人京都子どもの音楽教室では
 教室を応援して下さるサポート会員を募集しています
 運営 一般社団法人 京都子どもの音楽教室(京都市立芸術大学内)

第 64 回定期演奏会

京都子どもの音楽教室は、京都市立芸術大学音楽学部の教育研究機関です
京都子どもの音楽教室

第64回 定期演奏会

Program

- ① 作曲作品発表
- ② 個人演奏
- ③ 小さい子どもの合唱
 たのしいね 寺島尚彦 作曲 尾川史郎 編曲
 風になれ 川口英 作・編曲
 気球に乗ってどこまでも 平吉敏樹 作曲
 はら
- ④ 《指揮》津田直庚 演奏
- ⑤ 大きい子どもの合唱
 夜宮あまのつりねのめ
 「月の迷い子たち」より 横山潤子 作曲
- ⑥ 《指揮》小林裕
- ⑦ 小さい子どもの合奏
 「動物の調内舞」より 〇サンサーンス 作曲
 井原和宮 編曲
- ⑧ 大きい子どもの合奏
 夜宮モレナーダ ホルゲ 〇p.20 B.エムガー 作曲
 《命奏指揮》巖野修彦
 *国家状況によってはプログラムを変更する場合があります

2021年
11月14日(日)

開演予定時間
 10:20 合奏
 12:40 作曲・個人演奏
 14:40 BI-BI合唱
 15:55 入会礼

今年には感染対策のため、関係者及び一般の皆様には人数制限で公開致します。かつたに完全予約制で発表する予定です。一部の楽器の租賃申し込み方法の添付シート。10/16(日)にホームページにアップ致します。

京都市呉竹文化センター
 京都市伏見区京町南7丁目35番地の1

入場 無料

後援 京都市教育委員会・京都新聞
 www.kyoto-kodomo-music.com

オンラインコース

Google classroomを使用した、音源・動画配信コースです。遠くにお住まいで教室まで通うのが難しい方や、土曜以外の自由な時間に自宅受講を受けたい方に最適です。

- ・年中コース、年長コース**
 音楽教室の年中、年長クラスのカリキュラムに合わせ、リトミック(年中のみ)、ワーク(随時)、うた(随時)等別冊を随時追加配信コースです。自由な表現力を養いながら、音楽の基礎を楽しく身につけていきます。
 サンプル動画をご覧ください
- ・小学生・中学生 初めての聴音コース**
 初めて聴音に取り組む小学生・中学生のためのコースです。ト音記号の書き方、小節の区切り方など、楽譜制作の初歩から、配信動画で丁寧に指導します。
 サンプル動画をご覧ください
- ・オーダーメイドコース**
 小学生から高校生までの当教室対面クラス授業を入室、休室及び退室生のためのコースです。習熟度に合わせて聴音の問題を作成して配信します。

各コースの課題には、PCやiPhoneなどのスマートフォン、iPadなどのタブレット等をご利用ください。またWi-Fiなどのインターネット接続環境をご用意ください。
 (注:モバイル通信では過大な通信料が発生する可能性があります)

オンラインコースでは合唱クラス、合奏クラスを受講することはできません。
 ●前期受講生はスクールメール(10月5日、16日、23日)で、前期・後期して受講する人は定期演奏会個人演奏部門発表のためのオーディション(10月、来週)と面接(受け入れられる方のみ)を、希望により受け付けることができます。

授業方法
 ●10日ごとに年間30回分の授業を配信します。10日隔ちでも何回でも見ることが出来ます。課題の提出期限は配信開始から約4日後です。
 ●課題や宿題はメールやGoogle classroomを通して承ります。小学生以上は、年2回の試験と年間4回程度Zoomによる視聴のライブ授業があります。

沿革

- 1953(昭和28年) 京都府音楽教育連盟主催、京都市教育委員会後援のもと、子どもの早期音楽教育を目的として開設(初代室長 中野彰、元京都市立音楽短期大学教授)
- 1954(昭和29年) 9月、創立1周年を記念し、朝陽学園こどものための音楽教室との合同演奏会を音楽会館にて開催(指揮 小澤征爾)
- 1957(昭和32年) 京都市立音楽短期大学(現京都市立芸術大学音楽学部)「教育研究部」新設により京都市立音楽短期大学校舎の使用が認可され移転
- 1958(昭和33年) 9月、創立5周年記念演奏会(第1回定期演奏会)開催(於 音楽会館) ●その後、年1回定期演奏会を開催
- 1959(昭和34年) 京都市立音楽短期大学音楽教育研究会の研究機関となる
- 1959(昭和34年) 8月、第1回創作オペレッタ「あめとどり」上演発表(於 京都音楽第二ホール) ●その後、2020年8月までに創作オペレッタを26回開催
- 2002(平成14年) 12月、創立50周年記念演奏会(第48回定期演奏会)(於 呉竹文化センター)
- 2004(平成16年) 3月、創立50周年記念創作オペレッタ公演「モモ」(於 呉竹文化センター)
- 2010(平成22年) 9月、京都市立芸術大学音楽教育研究部内へ移転
- 2013(平成25年) 3月、創立50周年記念演奏会(第50回定期演奏会)を開催(於 呉竹文化センター)
- 2014(平成26年) 3月、創立60周年記念創作オペレッタ公演「僕たちのソング五人組」(於 八幡市文化センター)
- 2018(平成30年) 9月、京都市生涯学習市民センター加盟
 11月、京都新築大賞「教育社会賞」受賞
- 2019(令和元年) 5月、一般社団法人 京都子どもの音楽教室設立
- 2020(令和2年) 4月、一般社団法人 京都子どもの音楽教室へ運営移管
- 2021(令和3年) 4月、オンラインコース開設

一般社団法人
京都子どもの音楽教室

TEL 075-255-4262 FAX 075-255-4272
 music@bz04.plala.or.jp

〒604-0052 京都市中京区油小路通御池押通小路町238-1
 京都市立芸術大学音楽高等専攻校内

毎週土曜日開講
 www.kyoto-kodomo-music.com/

京都市地下鉄 東山線(二条駅)駅2番出口より徒歩2分。
 京都市バス「嵐山線」バス停より徒歩2分。

第 27 回創作オペレッタ公演

京都子どもの音楽教室は、京都市立芸術大学音楽学部の教育研究機関です
京都子どもの音楽教室

第27回創作オペレッタ公演

不思議の国のアリス

2022年
3月13日(日)

17:30開演(17:00開場)
 京都市呉竹文化センター

原作:ルイス・キャロル
 訳:脇 明子
 脚本:京都子どもの音楽教室脚本部
 演出:小林裕
 指揮:高谷光臣
 舞台監督:外村惣一郎
 作曲:京都子どもの音楽教室作曲クラス生徒
 出演:京都子どもの音楽教室生徒

今回は感染対策のため、関係者及び一般の皆様には人数制限で公開いたします。一般の皆様のご観覧申し込み方法は、2022年2月12日にホームページにてお知らせいたします。

入場無料(併席制)
 今回は感染対策のため、関係者及び一般の皆様には人数制限で公開いたします。一般の皆様のご観覧申し込み方法は、2022年2月12日にホームページにてお知らせいたします。

後援:京都市教育委員会・京都新聞